



第29回生協まつりに6万5千人がっせう

10/25(日)第29回生協まつりが和歌山城砂の丸広場を中心に、かがやけ和歌山 広げよう平和・くらし・健康の和をテーマに開催されました。生協まつりは県下4単協で実行委員会を構成し、今年は、壮大な農芸太鼓のオープニングの後、主催者を代表して医療生協、木下副理事長があいさつを述べました。

中央舞台では、東地区の大正琴サークル、河西地区の民謡サークルが日頃の活動の成果を披露し、お笑いステージや因幡晃ふれあいライブで楽しみました。模擬店は医療生協の地区や職場など7店が出店しました。健康コーナーでは、無料健康チェックで血圧、体脂肪測定を行い、220人が健康チェックを受けました。

この日、6万5千人(主催者発表)が参加し、秋のひとつきを満喫しました。



河西地区 民謡サークル



木下副理事長あいさつ



東地区 大正琴サークル



東地区は焼きそばとおでん等でもうかりました?



南地区は焼き鳥とバザーで出店



中地区は柿の葉寿司とおにぎりを販売



河西地区はおでんとコーヒーを販売



海南海草地区は早なれ寿司や豚汁などを販売



健康チェックは220人が受けました

第6回おおみや健康秋まつりも300人の参加者でにぎわう



10/24(土)第6回おおみや健康秋まつりが診療所で開催されました。つくしんぼの和太鼓演奏でオープニング。岩出甚句保存会の踊り、

太極拳、フラダンスなど組合員さんの活動が披露されました。模擬店もおでん、焼きそば、焼き鳥、てんぷらなどの店が出され、待合室では骨密度測定などの健康チェックを58人が受けました。福引は長蛇の列になり、2時間あまりのまつりを楽しみました。

